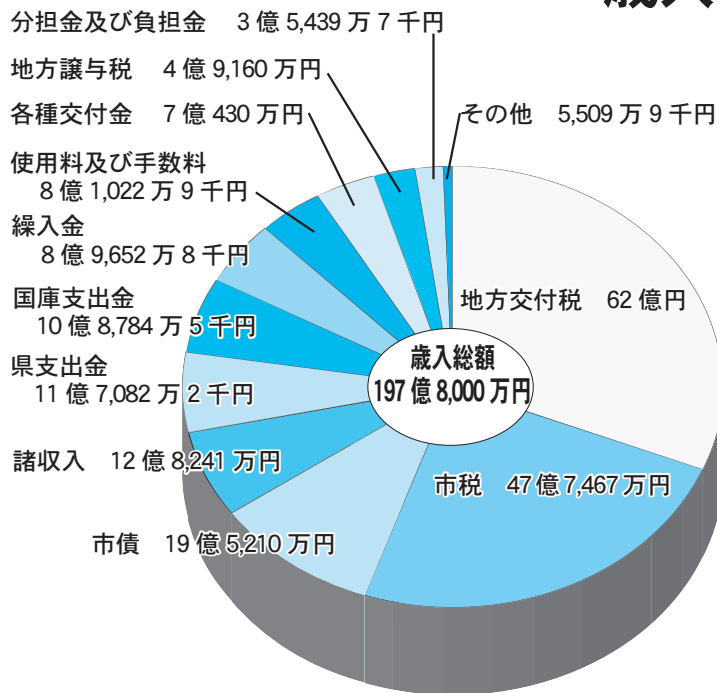


# 朝来市予算の概要

## 歳入



**一般会計**  
197億8,000万円

**特別会計等**  
136億8,210万円  
(企業会計含む)

市民一人当たりが納める市税額 13万4,060円 (47億7,467万円) ※( )は総額  
(平成18年1月末現在の人口 3万5,616人)

固定資産税	市民税	たばこ税	軽自動車税	入湯税
8万8,983円 (31億6,921万1千円)	3万7,252円 (13億2,677万4千円)	5,511円 (1億9,628万6千円)	2,057円 (7,327万5千円)	256円 (912万4千円)
土地・家屋・償却資産 に対してかかる税	個人所得や会社・団体の収 益などに対してかかる税	市内で販売されたタバコ の消費に対してかかる税	軽自動車・オートバイ などにかかる税	温泉の入浴にかかる税

### 一般会計

市の会計は、一般会計と十三の特別会計、水道事業・工業用水道事業の企業会計に分かれて構成されています。そのうち、一般会計は福祉や教育、建設など市の主な仕事に使われる予算で、市の行政サービスの大部分をまかなっています。平成18年度の朝来市の一般会計予算は百九十七億八千万円となっています。

### 歳入

市に入る一年間のお金(歳入)のうち、市独自の収入である市税や使用料などの自主財源は八十一億七千三百三十三万三千元(41.3%)です。このほか、市が一定水準の行政サービスを行えるように、国から交付される地方交付税や国・県支出金などの依存財源は百十六億六百六十六万七千元(58.7%)です。

### 歳出

市が一年間に使うお金(歳出)を目的別にみると、トップは公債費の三十七億七千九百九十五万四千円(19.1%)、二番目は民生費の三十七億三千六百九十八万円(18.9%)。

### 特別会計

三番目は総務費の三十億九千七百八十七万七千円(15.7%)となっています。性質別にみると、人件費が三十九億三千三百二十五万九千円(19.9%)、市債の返還にあてる公債費は三十七億七千九百九十三万六千円(19.1%)となっています。物件費や補助費などをあわせた消費的経費の総額は百四十五億千四百五十九万三千円で歳出全体の73.4%を占めています。

### 特別会計

特別会計は、一般会計とは切り離し、独立した予算で行う場合の会計で、朝来市では国民健康保険特別会計、老人保健特別会計、下水道事業特別会計、介護保健特別会計など十三の特別会計を設置しています。

一方、企業会計は、地方公営企業法の適用を受けるもので、特定の事業についての収入で支出をまかなう独立採算性をとっており、水道事業会計、工業用水道事業会計がこれにあたります。今年度の特別会計と企業会計をあわせた予算総額は百三十六億八千二百十万円となつ